

瑞浪都市計画駐車場の決定（瑞浪市決定）

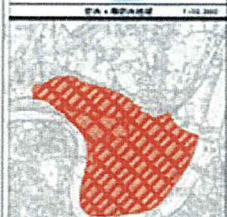
都市計画駐車場を次のように決定する。

名 称		位 置	面 積	構 造	備 考
番号	駐車場名				
2	瑞浪市営駅北 駐車場	瑞浪市 寺河戸町 沖中、蟹淵 及び道下	約 14,000 m ²	地上 1 層	駐車台数 約 450 台 入口 2 か所 出口 2 か所

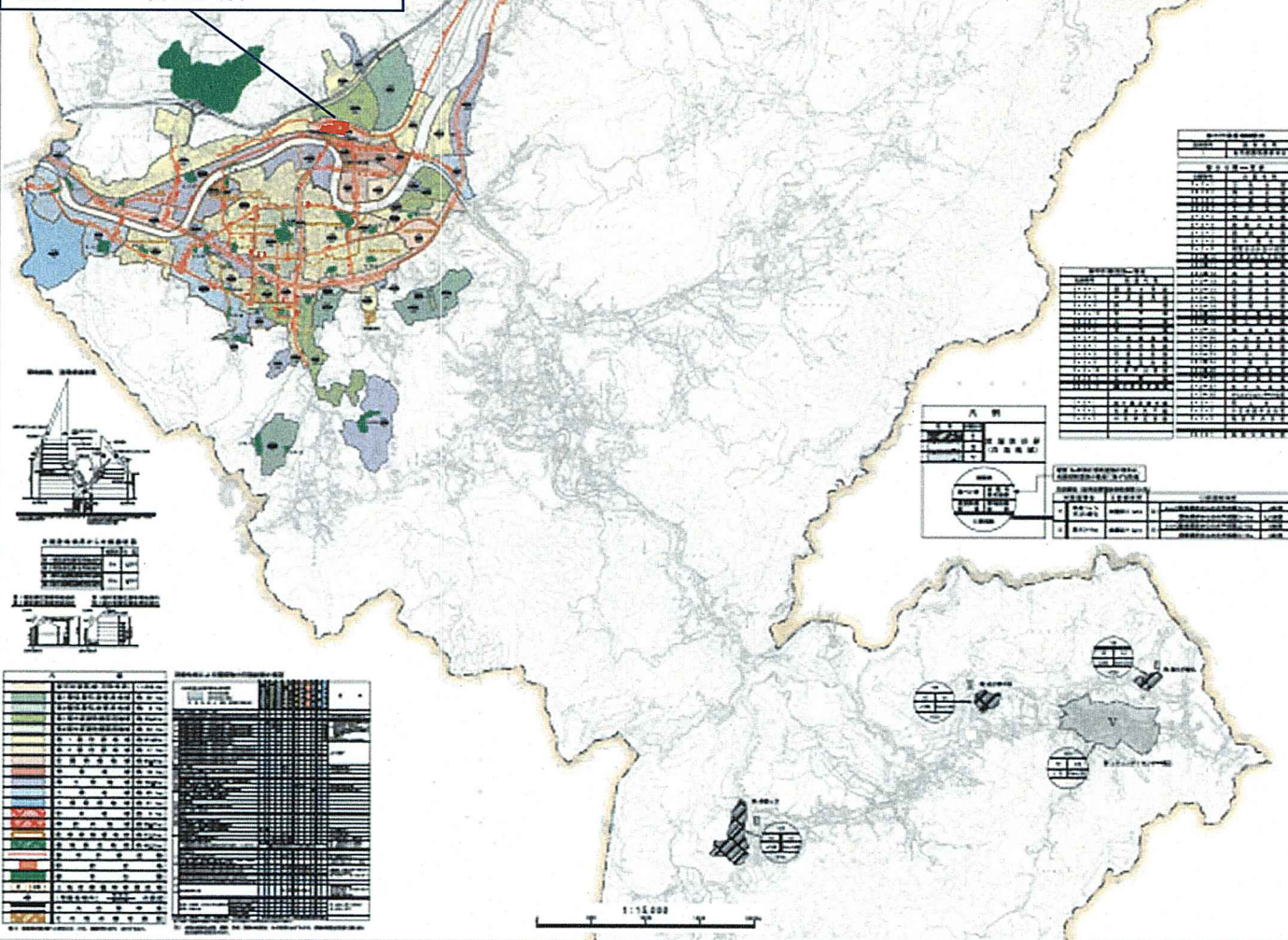
「区域は計画図表示のとおり」

理 由

瑞浪駅の交通結節点機能強化のため、瑞浪市営駅北駐車場を都市計画決定するものである。

[illegible]

瑞浪市寺河戸町
沖中、蟹淵及び道下
約14,000m²
地上1層（平面駐車場）
駐車台数：約450台
出入口：各2か所

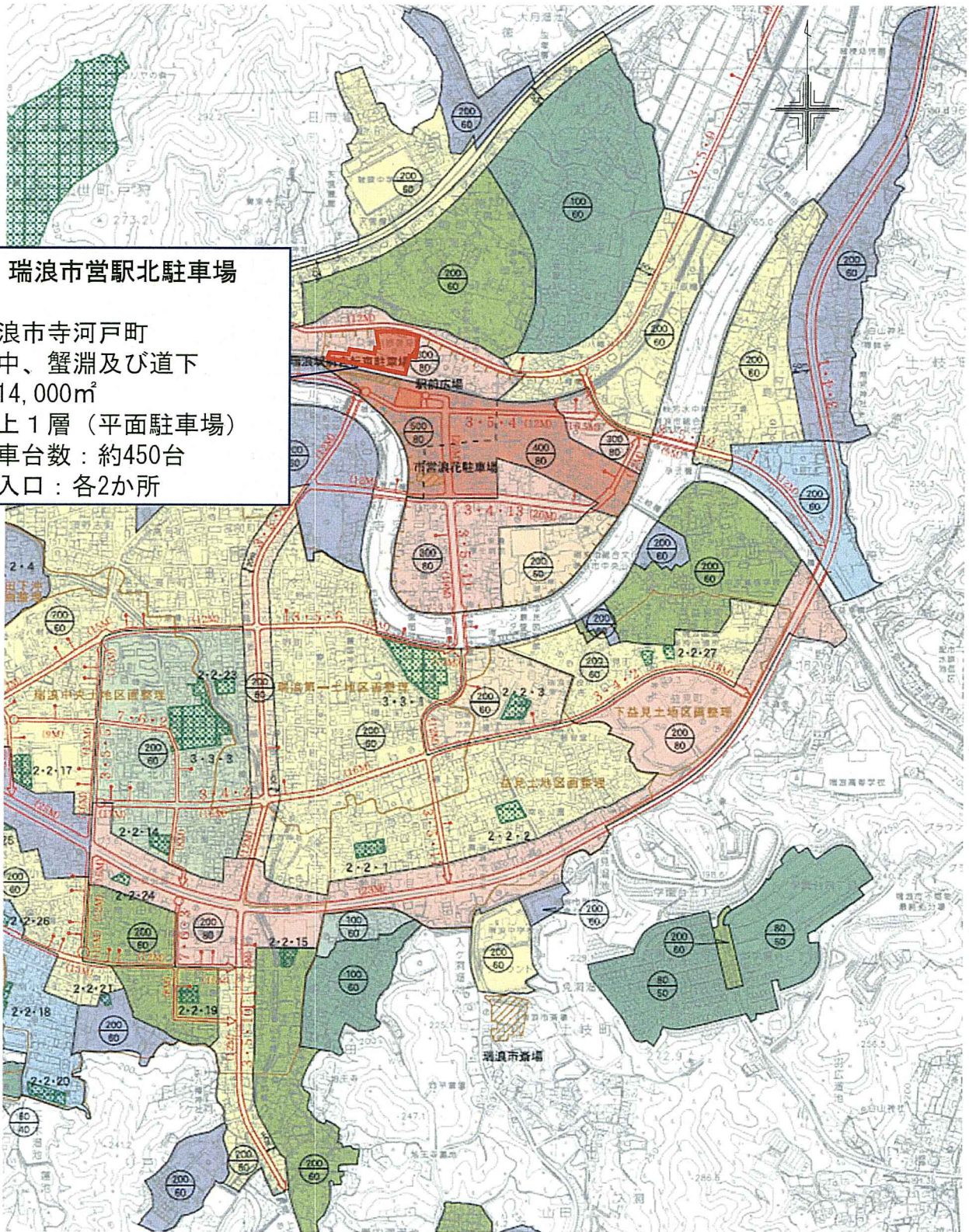


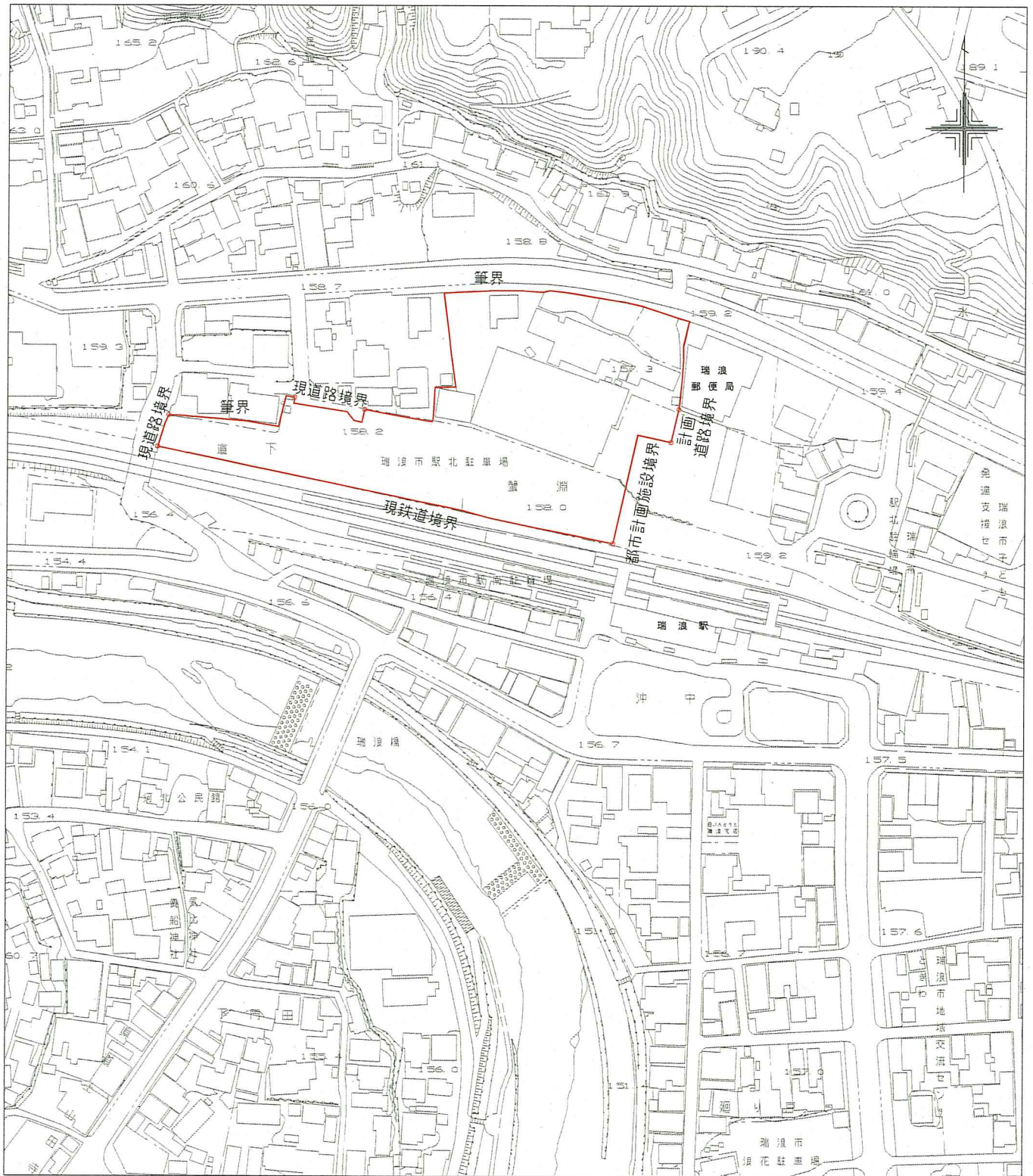
総括図（抜粋）

S=1/15,000

瑞浪市営駅北駐車場

瑞浪市寺河戸町
沖中、蟹淵及び道下
約14,000m²
地上1層（平面駐車場）
駐車台数：約450台
出入口：各2か所



$$S=1/2500$$


【都市計画決定の理由書】

1. 都市計画及び都市計画の上位計画における位置付け

中心市街地である瑞浪駅周辺では、空き家や空き店舗の増加、人口減少等の課題があり、まちのにぎわいが低下している。

令和4年7月に策定した、瑞浪駅周辺まちづくり基本方針においては、『未来の子どもたちに渡せるまち』をコンセプトに、瑞浪駅周辺を、地域住民だけでなく、訪れる人々や駅利用者にとっても、便利で滞在したくなるような、多世代が交流できるような魅力ある空間とすることとしている。

現在交通結節点である瑞浪駅の北地区には、主に鉄道利用者が利用する市営駅北駐車場が整備されており、常時一定程度の利用がされている。その駅北地区において、まちのにぎわい創出のきっかけとなるような、複合公共施設等の整備が予定されており、それら駅周辺施設利用者の駐車場需要増加も見込まれる。そこで、引き続き交通利便性が高く、アクセスが容易な中心市街地とするため、さらなる交通結節点機能の強化を目的とし、瑞浪市営駅北駐車場の整備を行う。

上位計画における、都市計画の位置付けについては以下の通り。

「第7次瑞浪市総合計画」

瑞浪駅周辺を交流拠点と位置付け、特性を活かした交流の場としての活用を図ることとしており、瑞浪駅北地区では、人々がまちに集まるきっかけとなるような魅力ある複合公共施設の整備や、市営駐車場の拡張を行う。また、瑞浪駅周辺エリアの利便性向上のため、駅北改札口の設置に向け、協議を進める。

「瑞浪都市計画区域マスタープラン」

魅力ある JR 瑞浪駅周辺地区の創出。JR 瑞浪駅周辺については、本区域の中心拠点としてふさわしい都市機能の維持、にぎわいの創出を図る。

「瑞浪市都市計画マスタープラン」

瑞浪駅周辺地区では、本市の中心部、また玄関口として、にぎわいのある利便性の高いエリアとするため、瑞浪駅周辺の再整備を検討している。再開発事業や、既存建物のリノベーション等により、必要な生活サービス機能の誘導を図る。

具体的には、駅北地区では、既存の市民図書館と中央公民館の貸室機能等を集約した複合公共施設の整備、駅北ロータリー線の改良、駅北駐車場の拡張を行う。駅南地区では、市街地再開発事業による、再開発ビルの整備や駅前広場の拡張、

歩行者空間の改良を検討している。

「瑞浪市立地適正化計画」

瑞浪駅を中心に、市民の快適な生活環境を支える都市機能を集約し、様々な活動や交流・賑わいの中心となる拠点と位置付け。

2. 都市計画決定の必要性

交通結節点として、鉄道利用者と複合公共施設等の駅周辺施設利用者の駐車需要を満足するため、瑞浪市営駅北駐車場の整備を行う。また、将来にわたり適切に施設が維持管理され、利便性の高い交通結節点としての役割を果たすために、都市計画決定を行う。

3. 位置・規模の妥当性

公共交通が集まる瑞浪駅の北側に整備することで、交通結節点機能の強化を図る。新たに整備する北口改札へのアクセスや、複合公共施設にも隣接した位置とすることで、施設相互の利便性を高める。

規模については、鉄道利用者の駐車場需要と、複合公共施設等の駅周辺施設利用者、さらに七夕まつり等の駅周辺でのイベント時の駐車場需要を満足する規模とする。

【参考資料】

※現時点の計画における事業位置を示した参考資料です。
※各施設については、今後の設計により詳細が変更になる可能性があります。

